

かゆみの強い頬の紅斑がなかなか治りません
太藤病の場合はインドメタシンで治療します
中野皮膚科クリニック
<http://www.nakano-derma.com/>

強いかゆみを伴うのう

疱ができる太藤（おおふ

じ）病について、日本皮

膚科学会認定皮膚科専門

医、中野皮膚科クリニック

にできやすく、見た目は

ク院長の松尾光馬先生に

聞きました。

「どんな病気ですか？

「太藤病は、正式名を

『好酸球性膿疱（のうほ

り）性毛包炎』と言いま

す。何らかの原因で毛穴

に好酸球が集まり、うみ

ます。20代30代の若い

男性に多い病気です。1

970年に京都大学の太

藤重夫教授によって発見

されたもので、発見者の

名前を取って「太藤病」と

呼ばれています。原因な

ど詳しいことは分かって

いませんが、エイズ（H

IV感染）の合併症とし

て発症することもありま

す」

「治療法は？

「アトピー性皮膚炎や

酒さなどにも似ているた

め、なかなか診断がつか

ないことがあります。血

中の好酸球数の増加、皮

膚の一部をとって検査を

行って鑑別します。治療

は消炎鎮痛薬であるイン

ドメタシンを服用しま

す。

湿疹やアトピー性皮膚

炎だと自己判断して市販

薬を用いると、こじらせ

る場合があります。同じ

症状が続く場合は、一度

皮膚科の医師に相談を」



診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	12:00 まで受付
15:00 ~ 18:30	○	○	○	○	○	—

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師

問い合わせ
中野皮膚科クリニック
中野区中野2-30-3、マルニビル5階。中野駅南口徒歩2分
☎03-5342-0722

2019年1月5日付 「リビング東京副都心」に掲載されました